

## 平成 28 年度 若手研究奨励賞 受賞者

〔研究者〕	
	氏名 能作文徳 (ノガタ ノウサク フミノリ ) 所属 建築学系 職名 助教
〔タイトル〕	
日本とヨーロッパの都市空間における「コモンズ」に関する比較研究	
〔研究の概要〕	
<p>20 世紀の産業社会の成熟により人々の生活は経済的に豊かになったが、産業化された空間やサービスが市場原理に沿って整備され、「安全安心」という考え方のもとでリスクを取り除こうとするあまり、人々の自律的な活動が縮小しているといわれている。このような危機感のもと、人々が共同で構築、運営していく建築・都市空間に対する評価が高まっている。都市空間における「コモンズ」には、アクセス可能な資源が存在し、それらが持続し実践されるしくみが必要である。本研究では、都市空間における「コモンズ」として、自然環境、建造環境、人々のふるまいの 3 つに着目し、日本とヨーロッパの都市における実例を比較・検討することで、文化的な相違を含めた都市空間における「コモンズ」のあり方とその空間実践を明らかにすることを目的とする。</p>	
〔オリジナリティ〕	
<p>本研究に類似する建築学分野の研究には、広場や公園における建物の配置とオープンスペースとの構成に着目した研究、パブリックとプライベートの緩衝領域をコモンスペースとして捉えて、空間構成を論じる研究、公共空間においてアンケート調査などにより人の過ごし方などを調査した研究が多くみられる。それらに対し、本研究は、共同性の空間を、従来のコモンスペースやパブリックスペースとは異なり、自然環境、建造環境、人のふるまいといった 3 つ共有の資源から捉え、それらの関係から共同性の空間のあり方を明らかにするところに独創性がある。</p>	
〔期待される成果〕	
<p>都市空間における「コモンズ」を自然環境、建造環境、人のふるまいという共有の資源から分析した知見をもとに建築設計や地域計画の新たな空間的な方策を提案し、研究成果の発表、出版を行なう。</p>	